

まちづくりミーティング要旨

1. 団体等の名称 国境なきレクリエーション
2. 日 時 令和2年10月29日（木） 19時30分～21時00分
3. 場 所 市長：市長室、参加者：各自宅など
(オンライン会議アプリ Zoom を活用して実施)
4. 出席者 <参加団体> 6名 <市> 市長
5. テーマ ①各務原市の魅力
②Zoom の有用性
③多文化共生

テーマ①：各務原市の魅力

【参加者】日本の中で一番心地良いまちは各務原市だと思います。日本で各務原市が一番好きなのですが、外国人と日本人がお互いの文化の違いを知ることができ、楽しみながら交流できるイベントをもっと開催してはどうですか。

【市長】市では、各務原国際協会と連携し、多文化共生について取り組んでいます。多文化共生を実感できるイベントとして、「KIA フェスティバル」や「日本語で話そう」、「多文化共生料理講座」などの交流イベントを実施しています。今後も、このようなイベントを企画していきたいと考えておりますが、時には、官民が力を合わせて企画していくことも大切だと思います。

【参加者】各務原市から企業に向けて、どこにアクセスすれば技能実習生にとって有益な情報を得られるか発信してはどうですか。

【市長】各務原市の多くの外国人市民は、市内の企業に勤めているため、日本語教室や防災教室、イベント、コロナ対応などの必要な情報については、企業の担当者に直接または郵送などで送らせていただいています。

一昨年度各務原国際協会では、公式 Facebook を開始しました。Facebook では、イベントや災害時、暮らしの情報を多言語で発信しています。Facebook 開始時には、チラシを外国人市民や市内企業に配布させていただきました。また、各務原国際協会が発行する「KIA REPORT」でも Facebook の紹介をしており、全戸配布しています。

テーマ②：Zoom の有用性

【参加者】Zoom の良いところは、いろいろな場所から一堂に集まることができる場所だと思います。この機能を使い、外国人の子どもたちが日本語学校の先生に日本語を教えてもらうというシステムを作ったら良いと思います。

【市長】ご提案のように Zoom は非常に有効な手段だと思います。今後 1 人 1 台のタブレットが配布することに鑑み、新しい日本語教育の在り方を検討させていただきます。

テーマ③：多文化共生

【参加者】世界中の国から日本を選んで、日本のたくさんあるまちの中から各務原市を選んで住んでくれた外国人に対して、どうサポートすべきか、また外国人に対しての日本語教育についてどうお考えか、教えていただきたいです。

【市長】各務原市には、身分系の在留外国人が約 6 割いて、住民としての共生を図っていく必要性を強く感じています。外国人の方にとって、「生活のため」「交流のため」「仕事のため」など、日本語を学ぶ目的が大事だと思いますが、そういったニーズに対応するため、市や各務原国際協会だけでなく、国や岐阜県と協力して、企業向けの日本語教室や求職者向けの日本語教室も市内で開催する予定です。

【参加者】外国人在住者に対しての認識がないと、多文化共生の実現は難しいと思いますが、どうお考えですか。

【市長】多文化共生の実現のためには、日本人と外国人の相互理解が非常に大切だと考えます。そのために、市では日本語教室や各種イベントで、日本人と外国人相互について理解する場の提供を行っています。

また、来年度以降「多文化共生プラン」の策定に取り組んでいきます。市民の方のご意見を伺いながら、現状の課題を整理した上で、多文化共生の実現のため、各種事業を長い目で取り組んでいくことができるようになると考えています。

日本人市民も外国人市民も住みやすいまちにしていきたいと考えています。

【参加者まとめの言葉】浅野市長の色々なアイデアが素晴らしいと思いました。各務原市は、道も空気もきれいで、大きな会社もあり、交通の便が良く、すごく便利で本当に素晴らしいまちです。ありがとうございました。

【市長まとめの言葉】外国籍の方が参加されるのは今回が初めてです。日本で働いたことのある外国籍の方なので、日本のこと、各務原市のことをよく知っていただいている方や、海外でご活躍いただいた方、直接外国籍の方々と接していらっしゃる方からご提案を頂き、非常にありがたく思っています。今日いただいたご意見について、対応できるところはしっかりと対応させていただきます。先ほど話をしていた多文化共生プランの中では、「国境なき」が1つのキーワードになり、非常に大切になってくると思います。色々な意見を頂いて、素晴らしいプランを作っていきたいと考えていますので、お気づきの点がありましたら、ぜひご意見をお願いいたします。